2021年下半期

薬局経営研究会 in 大阪

ァーマ "動き出した中医協の情報を追う"



10月に入り、2022年度改定に向けた議論がスピードアップしていきます。キックオフ会議となる第1ラウンドは月1回程度でしたが、個別改定項目を議論する第2ラウンドは月2〜4回の開催と中医協開催回数と議論の時間が一気に増加をします。それだけに、情報が動くのがこの10〜12月の3か月です。

中医協の資料を基にした情報発信メディアは多くありますが、資料だけでは実際の議論は見えてきません。中 医協とは厚生労働省が発案した議案・論点に対して、診察側と支払側が両者の視点から評価・適正化を議論する ことで成り立ちます。昨今では同じ診察側である医師会・薬剤師会による激しい議論も行われています。実際の 議論の内容から、どのような「指摘を受けているのか」、「返しのするのか」この攻防の中身が非常に重要とな ります。当社でも過去10年以上の傍聴を通し、実際の議論から改定に向けたヒントとなる情報を得ています。

改定に向けた議論と並行し進んでいるのが「規制改革推進会議」となります。現在の法律下では認められていない運用や、調剤報酬上の評価を伴わない運用に対して、国家施策ベースで運用改善が議論されます。現在「スーパーシティ特区」の開始に向けた、「調剤の外部委託」などが水面下で動こうとしています。

ドラッグストアの躍進は止まることを知らず、"調剤薬局"は大きな過渡期を迎えています。より多くの投資をすることが求められる市場主義へと時代は変わろうとしています。そんな中で、足元を固めるためにも報酬改定への対応が絶対条件になることは言うまでもありません。

薬局経営研究会では、毎月の薬局経営に関するトレンドを整理して皆様に提供させていただきます。その後、 参加者の皆さまとの意見交換を通し課題の明確化、解決の糸口を探求します。

2時間という短い時間、だけどもとても濃い時間。薬局経営を真剣に考える時間をご提供します。

会場

イオンコンパス大阪駅前会議室 Room B

(大阪府大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル15階)

時間

 $17:00\sim19:00$

定 昌

20名

主催

株式会社 Kaeマネジメント



業界の変化を理解し、旧態依然からの脱皮が必要です。

医薬分業から50年が過ぎ、薬局が大きな転換期を迎えています。要因として、少子高齢化に向かう日本の人口構造、アナログからデジタルへの転換が求められる産業構造の変化です。政策誘導により75%まで拡大した医薬分業率も頭打ちが見えてきた中で、薬局・ドラッグストア、他業種による処方箋の奪い合いが始まっています。

「患者のための薬局ビジョン」が公表され、健康サポート薬局や認定薬局制度と2025年に向けた薬局づくりが進められていますが、医療の中心は常に患者であり、患者の行動変容なくして理想の追求をすることは出来なく、患者や地域住民の理解、信頼を獲得できなければ全てが形骸化されたものになってしまいます。

敷地内薬局やオンライン薬局などの新しい形態が出てくる中、本当に薬局は患者に目を向けた健康情報拠点になっているのでしょうか。生き残るためのヒントは、そんな本質的なところにあるのかもしれません。

研究会開催日 第<u>1回 10 月20日 (</u>水) 参加者募集 11 月17日 (水) 参加者募集 第2回 第3回 12 月15日 (水) 第4回 1 月19日 (水) 第5回 2 月16日 (zk) 第6回 3 月16日 (水)

駒形 公大

株式会社 K a e マネジメント 代表取締役 2025年戦略推進本部長

NPO法人金融検定協会認定 中小企業事業再生マネージャー



大学卒業後、ベンチャーキャピタルに入社。社長秘書として新規事業立ち上げ支援などに従事。2010年に㈱Kaeマネジメントに入社。医薬品価格交渉や、財務コンサルティングを担当。中小企業の再生支援に従事。2012年より政策担当として、厚生労働省や各政策審議会等を傍聴。業界紙等には掲載されない生の情報を提供。独自の戦略構築により、基本料特例解除など多数達成。大手チェーン薬局幹部や、介護関係者、医師と幅広いい人脈を持ち精力的に活動をする。Kaeの情報はココから始まる。2020年4月より代表取締役。

お申込み 「薬局経営研究会in大阪」 FAX 03-5829-6679

氏名	
貴社名	
ご住所	一
電話番号	
連絡先E−mail	
参加日程	□ 11月17日

お問い合わせ

株式会社Kaeマネジメント 東京都台東区浅草橋3-1-1 TJビル3F

連絡先 TEL:03-5829-6659 E-mail :seminar@kae-management.com